



タイ・ロジャナ工場における 環境・社会への配慮

海外においても「理想環境方針」のもと、地球や地域社会との共生をはかりながらものづくりを進める理想科学の取り組みを紹介します。



理想科学では、2012年からタイ・アユタヤ県のロジャナ工業団地に製造子会社 RISO INDUSTRY (THAILAND) CO., LTD. を設立。ロジャナ工場で主力製品のひとつ、デジタル印刷機「リソグラフ」の生産を行っています。2014年4月には新工場の操業を開始し、現地の環境や文化に配慮しながら、日本と同じ高品質な製品を安定して提供するための生産体制を構築しています。



省エネ対応

タイ・ロジャナ工場では、電気の使用量削減を中心に、省エネ活動に取り組んでいます。工場内の部品貯蔵エリアにある屋根の一部を透明にすることで、昼間の照明を不要とするスカイライトを導入しているほか、休憩時間には消灯を心がけています。また、空調は25℃の設定を基本ルールとするなど、エネルギー消費を抑えるための工夫を工場の各所に取り入れています。



工場の屋根に設けられたスカイライト



25℃に設定された空調

省資源活動

タイ・ロジャナ工場では、段ボールの分別回収に徹底して取り組んでいます。納入部品の梱包に使われた段ボールは、リユースが難しいため、有価資源としてリサイクルしています。また、製品梱包用段ボールは、船積み輸送を想定して強度を持たせているため、日本から再びタイに戻してリユースしています。



段ボールの分別回収

水害対策

タイ・ロジャナ工場では2011年のタイ洪水を教訓に、BCP(事業継続計画)の観点から、施設内の各所にさまざまな水害対策を行っています。新工場の床面は、工業団地内道路から、1.6m高くして建設しています。また配電盤などの電気設備については、洪水時の水位よりもさらに高い位置に設置しています。そして、三次元測定機など移動が困難な設備のある部屋は、被害に備え、床面より一段高つくられています。その他、部品・設備の退避スペースを確保するなど、洪水への備えを実施しています。



配電盤



三次元測定機のある部屋

現地の文化を尊重する事業活動

現地の宗教や文化、習慣に配慮し、従業員の人権を尊重した事業運営に努めています。

新工場の建設時には、仏教の僧侶、バラモン教の司祭を招きセレモニーを行い、安全や事業の発展を祈願しました。また、工場の敷地内にスピリットハウスを設けて、従業員の厚い信仰心にこたえています。



工場敷地内の「スピリットハウス」

品質への取り組み

理想流 ものづくりを世界へ

「理想科学の製品を使ってよかった」とお客様に思っていただくために、当社は海外の生産拠点においても、徹底して品質を追求しています。タイ・ロジャナ工場では「リソングラフ」の組立ての際に使う治具*や完成品の検査基準などを日本と同等にするほか、技術指導などを積極的に実施。ISO9001やISO14001の認証を取得しているのみならず、言葉や文化の壁を乗り越えて理想流のものづくりを現地で実践しています。

*精度よくバラツキが少なく作業が行えるよう、部品や工具の作業位置を指示・誘導する器具

